

問題演習で学ぶ 材料力学

実務に役立てる

日時 2020年7月30日(木) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

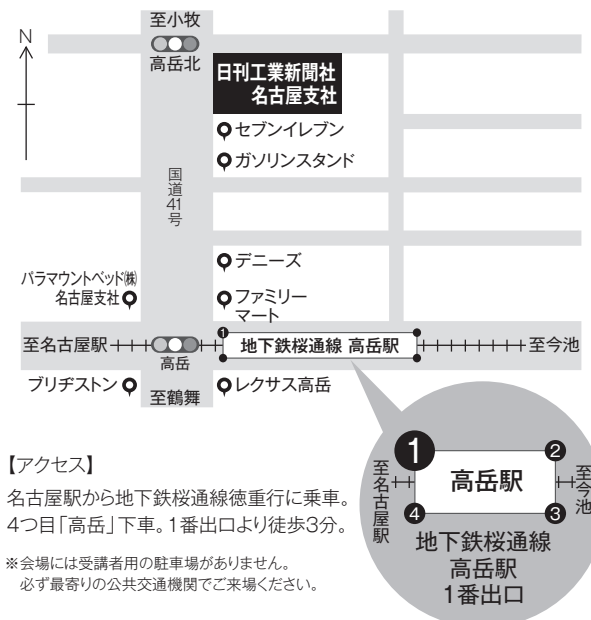
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」と記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



ご受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通)
FAX 052 (931) 6159

受講申込書

7/30 実務に役立てる材料力学

お申し込みは
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp
郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.207555

開催主旨

構造物や機械の剛性・強度設計には材料力学の知識が不可欠ですが、力のつり合いや公式の意味を十分に理解していないと適切に応用できません。同様に、CAEを利用する場合でも、適切な解析モデルを作成し、出力された結果を検証し判断することも困難です。

本講座では、実務に材料力学を応用できる力を身に付けることを目標に、理論の解説と平行して基本的な問題の演習を行って、力のつり合い、変形と応力の関係、有限要素法などを強度設計の場面でどのように使えばよいのかが理解できるように学習を進めます。

また、講師オリジナルのテキストを配布しますのでさらなる勉強や復習に活用できます。

目標は、材料力学の考え方を理解し、的確に**実務に役立てる力**をつけることです。強度設計に携わっているが、物理や力学はあまり自信がないという方、材料力学を初めて学ぶ方、もう一度基礎の基礎からやり直そうという方、計算力学技術者2級（固体力学分野）や機械設計技術者2、3級をめざす方々に最適な内容です。

講師

AN技術士事務所 **中本 昭** 氏

【略歴】 1976年大阪大学大学院工学研究科修士課程修了。造船会社、ソフトウェアベンダー、自動車部品製造会社で、おもに材料力学とCAEを利用した強度設計に従事したのち、2012年にAN技術士事務所を設立。
現在、「材料力学を楽しむ会」を主宰し、材料力学の学び方の研究を続けながら材料力学の勉強会の講師を務めている。
2005年技術士(機械部門)、2011年シニア教育士(工学・技術)。

プログラム

1. ものづくりと材料力学
2. 力と変形の解析
 - 2.1 自然の法則
 - 2.2 力と変形の分析
 - 2.3 力と変形が満たすべき条件
3. 構造要素の変形と応力の計算方法
 - 3.1 棒の引張圧縮
 - 3.2 はりの曲げ、ねじり
 - 3.3 連続体の応力とひずみ
 - 3.4 仕事とひずみエネルギー
 - 3.5 エネルギー法
4. 構造物の変形と応力の計算方法
 - 4.1 剛性マトリックスの導き方
 - 4.2 剛性マトリックスの特徴
 - 4.3 剛性方程式の解き方
 - 4.4 有限要素法の特徴
 - 4.5 三角形要素による有限要素解析
5. 実務への応用にあたって注意すべきこと
 - 5.1 モデル化の要点
 - 5.2 結果の検証